

Aria Empatica

旗揚げ公演
「バロック音楽のはなくらべ」

2023 6/18 日

開場 13:30 開演 14:00

※16:00 終演見込み

松本記念音楽迎賓館

入場料 1,000 円 (全席自由)

A. ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲 ホ長調「春」RV 269

(ヴァイオリン協奏曲集「和声と創意への試み」より)

A. スカルラッティ：室内カンタータ「恐ろしい光景を」

J. S. バッハ：管弦楽組曲第2番 口短調 BWV1067 より「ポロネーズ」

G. Ph. テレマン：ターフェルムジーク第1集より四重奏曲 ト長調 TWV 43:G2

G. Ph. テレマン：ターフェルムジーク第2集より終曲 ニ長調 TWV 50:9

他

Aria Empatica

旗揚げ公演

「バロック音楽のはなくらべ」

2023

6/18



開場 13:30

開演 14:00

松本記念音楽迎賓館

「二子玉川駅」または「成城学園前駅」よりバス
東急バス 531 系「岡本三丁目」から徒歩 5 分

入場料 1,000 円 (全席自由)

- A. ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲 ホ長調「春」RV 269 (ヴァイオリン協奏曲集「和声と創意への試み」より)
A. ヴィヴァルディ：オーボエ協奏曲 ハ長調 RV452
A. スカルラッチィ：大合奏によるシンフォニア第 2 番 二長調 R.533/2
A. スカルラッチィ：室内カンタータ「恐ろしい光景を」
G. Ph. テレマン：トランペット協奏曲 二長調 TWV 51:D7 より第 1 楽章
J. S. バッハ：管弦楽組曲第 2 番 口短調 BWV1067 より「ポロネーズ」
G. Ph. テレマン：ターフェルムジーク第 1 集より四重奏曲 ト長調 TWV 43:G2
G. Ph. テレマン：ターフェルムジーク第 2 集より終曲 二長調 TWV 50:9

わたしたちについて

通常のオーケストラでは取り上げられることの少ないバロック時代の作品に取り組みたい！ という意欲のもと、首都圏の社会人オーケストラで活動するメンバーにより結成されました。

団体名に含まれる Aria という言葉は音楽用語としては旋律的に歌われる独唱曲のことを指すと同時に「空気」や「態度」を指す言葉でもあり、Empatica は「共感を呼ぶ」といった意味を持ちます。作品と演奏する私たち、そしてお聴きいただく皆さまとの間に「共感」が生まれるような空間として演奏会を作っていきたいという思いを込めて命名しました。

メンバー

折原 拓磨 (ヴァイオリン)
川尻 翔 (ヴァイオリン)
北川 莉彩 (ヴァイオリン)
七種 理紗子 (ヴァイオリン)
松島 孝 (ヴァイオリン、バス)
茗荷 将史 (ヴィオラ)
松屋 雄一朗 (チェロ)
杉本 健太郎 (チェンバロ)
小山 洸士郎 (フルート、リコーダー)
五島 稷 (オーボエ)
根来 哲也 (トランペット、代表)

この演奏会について

今回の公演は我々にとってお客さまの前で演奏する初めての機会となります。よく知られたヴィヴァルディの爽やかな名曲「春」に始まり、暗い熱情を見せる A. スカルラッチィのカンタータ、そして大バッハやテレマンの華やかな管弦楽作品などを織り交ぜ、バラエティ豊かなプログラムを編みました。

彼らが生きた 17 世紀から 18 世紀前半は音楽史において「バロック時代」と呼ばれますが、この時代の音楽は簡単にひとくくりのものとして語ることはできない、百花繚乱というべきものです。松本記念音楽迎賓館の美しく音響にも恵まれた空間で、そのような時代の空気に想いを馳せるひとときを、お越しの皆さまと共に過ごしたいと思えます。

お問い合わせ

◆チケットご予約

こちらのコードよりお求めください▶

※未就学児童のご来場はお断りしております。



◆連絡先

{Twitter} @aria_empatica

{MAIL} aria.empatica@gmail.com